

京交自動車部新入組合員歓迎会開催!

自動車部新人組合員56人が参加 労働運動や交通局の現状を学んだ!

二〇一六年六月二十二日(水)及び二十四日(金)の二日間、京交本部会議室で自動車部新人組合員五十六人が参加して歓迎会が開催された。主催者の山本保自動車部長が歓迎の言葉を述べた後「私が入局した時から職場がなくなると言われ続けている。公共交通を取り巻く状況は厳しさを増している。自分たちの職場を守るために良い仕事をして下さい」と挨拶に立った。続いて、京交本部を代表して瀬戸高志執行委員長が講義をされ①労働組合について②選挙運動について③京都市交通局の現状について説明をされた後「バスは電車と違い事故が起きる率が高い。厳しい乗務が続くが、市民から愛される市バス運転士にならなければならない。ワークライフバランスを大切にしてください」と激励の言葉を述べた。その後、懇親会に移り、それぞれ意見交換を行い、終始和やかな時間を過ごした。自動車部新人組合員歓迎会が終了した。



…2日目の参加者で…



…1日目の参加者で…

二〇一六年六月十五日(水)十日(木)二日間、京交本部で新人組合員を対象とした歓迎会を開催した。前段に労金と全労済の担当者から社会人生活の上で必要な、貯蓄と保険について団体加入のメリットについて説明が行われた。歓迎会では、辻井啓典電車部長が歓迎の辞を述べた後、瀬戸高志執行委員長が①労働組合の役割について②京交の運動方針について③地下鉄事業や今後について分かりやすく解説がされた。限られた時間の中、新人組合員は、真剣に聞き入っていた。これから半世紀、交通局職員として過ごす人生に役立ててもらいたいと思います。

京交電車部新入組合員歓迎会開催!

16人が参加し労働組合や運動方針について学んだ!

二〇一六年六月十五日(水)十日(木)二日間、京交本部で新人組合員を対象とした歓迎会を開催した。前段に労金と全労済の担当者から社会人生活の上で必要な、貯蓄と保険について団体加入のメリットについて説明が行われた。歓迎会では、辻井啓典電車部長が歓迎の辞を述べた後、瀬戸高志執行委員長が①労働組合の役割について②京交の運動方針について③地下鉄事業や今後について分かりやすく解説がされた。限られた時間の中、新人組合員は、真剣に聞き入っていた。これから半世紀、交通局職員として過ごす人生に役立ててもらいたいと思います。



…2日目の参加者で…



…1日目の参加者で…

二〇一六年六月十五日(水)十日(木)二日間、京交本部で新人組合員を対象とした歓迎会を開催した。前段に労金と全労済の担当者から社会人生活の上で必要な、貯蓄と保険について団体加入のメリットについて説明が行われた。歓迎会では、辻井啓典電車部長が歓迎の辞を述べた後、瀬戸高志執行委員長が①労働組合の役割について②京交の運動方針について③地下鉄事業や今後について分かりやすく解説がされた。限られた時間の中、新人組合員は、真剣に聞き入っていた。これから半世紀、交通局職員として過ごす人生に役立ててもらいたいと思います。

熊本地震・自治労ボランティア支援活動に参加して

自治労ボランティア支援活動に参加してきました。私が参加したのは第四グループと呼ばれ、自治労から要請を受け西日本各地から五十六人の方々が参加されていました。五日は作業分担・宿舎の割り当てと前任者からの活動内容等の引き継ぎが行われ、作業は翌日からでした。作業場所は月・火・金は益城町・小谷(おやつ) 交差点西側集積所で残りの日は益城町・旧中央小学校跡地グラウンドの二か所で行いました。小谷の集積所では六市町村から集められた廃材のみ集められていて、ここでは業者の方が廃材を火力発電所の燃料にするために運び出すトラックの誘導と荷積みのお手伝いをしました。荷積みのお手伝いと言っても廃材を手で積むのではなく、重機で積まれた廃材をトラックからはみ出ないように、網を掛けたり廃材が偏って積まれているのを整理したりしました。現地におられた作業員の方のお話では、目の前にある廃材は約一ヶ月前のもので罹災証明の発行が進めばまだまだ増えるとのことでした。また、近くに住んでいる住民の



二〇一六年六月五日(日)から六月十二日(日)まで、熊本地震・自治労ボランティア支援活動に参加してきました。

方が余震で倒れ掛かっている壁を支えるのに廃材をもらいに来るといふ場面に遭遇し、大変な中で生活をされているというのを痛感しました。旧中央小学校跡地では被災された方々が持ち込むがれき等の搬入にあたり、町役場の方の指示に基づいて誘導や搬入・荷降ろしの手伝い、分別指示などを行いました。中でも家電関係では照明器具は受け取るのですが、蛍光灯やAV機器に入っている電池などを一般のごみ回収の方で出しているたかなといけません。ただ、せっかくなので持ってきたらいいので、お断りしなければなりません。なぜかという、町役場の方の話では大型家電等の処分に係る費用を町が出すため、蛍光灯や電池など一般ゴミでも出せるものを引き取ってしまおうと、その分の予算がかかるので処分に必要な予算が確保できなくなるとのことでした。また、産廃業者が今回の地震では出ていない大型家電製品を持ってきて処分しようとする業者もいるので、それらを見分けるのも大変だというお話も聞きました。今回の支援活動に参加して、まだまだ罹災証明が発行されていないため倒壊した家屋がそのままであったり、地震の影響で波打っている道路の舗装を仮で行っているところ、日々崩れているところがあつたりとテレビでは取り上げられていない現状を目の当たりにし、元の生活に一日でも早く戻れるよう心からお祈りいたします。

電整支部 福元 俊介 副支部長



発行所 京都交通労働組合
京都市中京区壬生坊城町48
TEL075-841-0948 FAX075-811-3536

定価 一部10円
本紙の購読料は組合費に含まれています
毎月1日発行
発行者 瀬戸高志
編集者 梅田涼

- 一面
- ・京交自動車部新入組合員歓迎会開催!
 - ・京交電車部新入組合員歓迎会開催!
 - ・熊本地震・自治労ボランティア支援活動報告
 - ・都夢ちゃんのひとり言

- 二面
- ・熊本地震ボランティアに参加して
 - ・教宣部員のつづやき
 - ・クロスワードパズル



トビウオは春から出はじめ、夏に旬をむかえます。カツオと同じように春先から夏に黒潮に乗って北上し日本近海に近づき、秋に産卵した後は南下します。胸びれをグライダーのように広げて飛び、空中滑空時の速度は時速五〇〜七〇キロ。六〇キロも飛ぶ強者(つわもの)もいるようです。滑空時に方向転換したり、急ブレーキをかけて水中に戻ったりすることもできます。これはマグロやカジキなどトビウオを狙う捕食者から逃げるためといわれています。漁法は魚の通り道(魚道)に網を仕掛ける刺網や定置網です。鹿児島や高知、長崎などから入荷します。九州や日本海地方ではアゴと呼ばれます。大阪の市場に鮮魚で入ってくるのはハマトビウオという種類で、トビウオの中でも大型。頭や背中のところが角ばっているためカクトビと呼びます。このほかにもハマトビウオ、ホソトビウオ、ツクシトビウオなどが水揚げされています。特産品も多く、兵庫、鳥取、島根ではトビウオを原料にした練り製品「あごちくわ」が有名です。長崎をはじめ北部九州では、小型のアゴを焼きたしにして出汁(だし)をとります。あごだしで、椿油が入ったツルツルの五島うどんを食べると最高です。アゴの丸干しはさつと炙(あぶ)ると味が出て酒の肴(さかな)に最適です。身は脂肪分が少なく淡泊な味で、新鮮なものが手に入ったらお造りが一番です。アジと同じ光物ですから、シヨウガじよう油が良くあいます。千葉県郷土料理「なめろう」は魚の生ハンバーグ。皿をなめるほど一度食べるとやみつきになります。トビウオを三枚におろし腹骨を削ぎとり皮を引きます。血合に添う小骨は取らず、そのまま包丁で細かく切ります。これにネギ、玉ネギ、ミョウガ、シヨウガ、麦みそ、好みでニンニクを合わせ、包丁でミンチ肉になるまでたたけばできあがりです。トビウオの旨(うま)みと調味料が合わさりご飯にもお酒のおつまみにも最適です。これを焼けば魚のハンバーグ「さんど焼き」です。人々の口は保守的で、他の地方のおいしい食べ方はなかなか広がりません。これはぜひお試しいだき。



トビウオ

トビウオは春から出はじめ、夏に旬をむかえます。カツオと同じように春先から夏に黒潮に乗って北上し日本近海に近づき、秋に産卵した後は南下します。胸びれをグライダーのように広げて飛び、空中滑空時の速度は時速五〇〜七〇キロ。六〇キロも飛ぶ強者(つわもの)もいるようです。滑空時に方向転換したり、急ブレーキをかけて水中に戻ったりすることもできます。これはマグロやカジキなどトビウオを狙う捕食者から逃げるためといわれています。漁法は魚の通り道(魚道)に網を仕掛ける刺網や定置網です。鹿児島や高知、長崎などから入荷します。九州や日本海地方ではアゴと呼ばれます。大阪の市場に鮮魚で入ってくるのはハマトビウオという種類で、トビウオの中でも大型。頭や背中のところが角ばっているためカクトビと呼びます。このほかにもハマトビウオ、ホソトビウオ、ツクシトビウオなどが水揚げされています。特産品も多く、兵庫、鳥取、島根ではトビウオを原料にした練り製品「あごちくわ」が有名です。長崎をはじめ北部九州では、小型のアゴを焼きたしにして出汁(だし)をとります。あごだしで、椿油が入ったツルツルの五島うどんを食べると最高です。アゴの丸干しはさつと炙(あぶ)ると味が出て酒の肴(さかな)に最適です。身は脂肪分が少なく淡泊な味で、新鮮なものが手に入ったらお造りが一番です。アジと同じ光物ですから、シヨウガじよう油が良くあいます。千葉県郷土料理「なめろう」は魚の生ハンバーグ。皿をなめるほど一度食べるとやみつきになります。トビウオを三枚におろし腹骨を削ぎとり皮を引きます。血合に添う小骨は取らず、そのまま包丁で細かく切ります。これにネギ、玉ネギ、ミョウガ、シヨウガ、麦みそ、好みでニンニクを合わせ、包丁でミンチ肉になるまでたたけばできあがりです。トビウオの旨(うま)みと調味料が合わさりご飯にもお酒のおつまみにも最適です。これを焼けば魚のハンバーグ「さんど焼き」です。人々の口は保守的で、他の地方のおいしい食べ方はなかなか広がりません。これはぜひお試しいだき。

熊本地震災害ボランティアに参加して



二〇一六年四月二十六日から三日まで、派遣第一班として、熊本市北区の龍田出張所（龍田公民館、避難者数約一〇〇人）で避難所運営補助に従事させていただきました。被災地に近づくにつれ、屋根瓦が落ちブルーシートを被せた家屋が至る所に出現し、支援に向かう気持ちも新たにすることを鮮明に覚えています。熊本市北区は、東区や益城町と比べ比較的被害度が軽い地域で、到着した時には既にライフラインが復旧していましたが、また、派遣された時期が、本震発生から一〇日程度経過していたこともあり、避難者の方も避難所での生活に慣れ始めておられ、想像していたよりも安定しておられるように見受けました。しかしながら、やはり社会的弱者と言われる方々にとっては、雑魚寝が基本の避難生活は御身体への負担が大きく、避難所に来られるのを躊躇されている方の相談も受けました。辛そうな御姿に心が痛みました。主な業務は食事配膳補助。派遣当時は自衛隊が炊き出しを行っており、朝昼晩三食ごとに軍用トラックで運ばれてくる食事をトラックで運ばれてくる食事を避難者の方に配膳していただきました。夜間は、避難所の治安維持のため、メンバーが交代で起きて場内警戒を行いました。熊本市市民病院から毎日看護師二人が派遣され、避難者の方の巡廻や健康チェックなどを行っていただきました。周辺では銭湯の無料開放もありましたが、私たちが避難所職員は入浴しませんでした。水なしシャンプーとボデイシートで凌ぎましたが、比較的気候も涼しく、何とかやり過ごすことができました。食事

も無いものと覚悟していましたが、自衛隊の炊き出しの余りをいただくことができました。驚いたのは、報道にもあった通り、避難所での宿泊を拒否され、車中での寝泊りされる方が本場に多かったことです。避難所にもプライバシー保護は必須だと考えさせられました。最後になりませんが、生活必需品を有志で支給していただいた局幹部職員の皆様、こんな私を推薦していただいた所屬長、そして、異動後一週間しか経っていないのに熊本へ送り出していただき心から感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

植野 智一（本局）



二〇一六年四月二十六日から三日まで熊本地震災害ボランティア

を把握することができました。その中で一番大切なものは、やはり正確で迅速な情報なのではないかと感じました。現地では、常に状況が動いていくのでその状況を把握しなければ避難所の運営に大きな支障が出てしまいます。私が担当した時も自衛隊の物資の支給状況・避難所の避難者数・物資の数量・熊本市の今後の方針など、必要な情報が把握しきれず、避難所と現地本部との認識の差が出てしまいました。今回の職員派遣では普段の業務で行わない貴重な経験を積ませていただきました。防災について今まで考えていませんでしたが、普段からの備品の備えや避難場所、災害が起きた時の行動などを事前に決めておく必要性を感じました。

黒田 宗一（電気区）



二〇一六年四月三〇日から五月四日まで熊本地震災害ボランティア

ア参加しました。地震発生から約二週間、水道・電気・ガス等ライフラインが復旧していく中で業務を行いました。内容は食料の配膳、物資の管理、避難者の状況把握等です。時間の経過につれて被災者が減少していきましたが、昼間に戻っていた方々が夜間恐怖心のため、避難所へ来られることがあり、あらためて地震の人々に及ぼす精神的なダメージの怖さを感じました。そのため、避難者の方々に挨拶し、お話を聞くことで、心理的負担を軽減するよう心がけました。いつ発生するか予測出来ない災害に対して、しっかりと準備しておく大切さを今回の震災派遣で再認識しました。

野田 英樹（東西線乗務員）

教宣部員のつぶやき

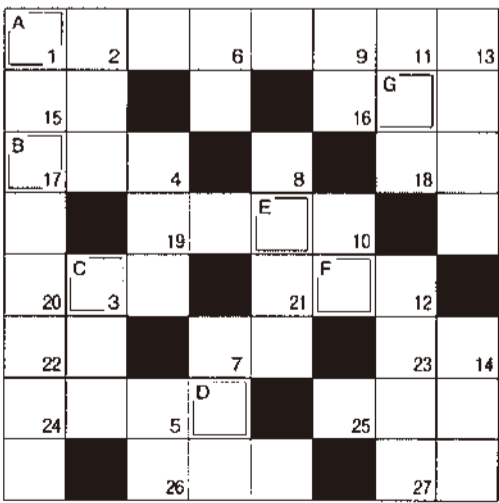


毎年訪れているバリ島についてガイドブックには載っていないような、私目線のバリ島の歩き方をつぶやきます。バリ島は、インドネシア共和国に属する島で、首都ジャカルタがあるジャワ島のすぐ東部に位置し、愛媛県程の広さで人口約四〇〇万人の島です。バリ島は神々の島・地上最後の楽園と呼ばれ、毎年多くの観光客が訪れます。関西空港から一日一便の直行便があり、約七時間でバリ島のデンパサール空港に到着します。時差は、バリが日本時間より一時間遅いです。デンパサール空港は、数年前に新しくなりFree WiFiも設置されていて快適に過ごすことができます。入国ビザは、二〇一六年に免除されました。空港到着カウンターの前で荷物受取スロープで自分の荷物を受け取った時は、必ず自分で持ち運んで下さい。空港職員風の制服を着た人達がいて荷物を運ぼうとしますが、たつた一〇〇mぐらい運んだだけで日本円にして千円程のチップを要求されますので要注意です。基本的にバリは、チップ社会ではありません。自分の荷物はツアコンにも触れず常に自分で運んで下さい。しかしながらバリは親日国です。治安も私の経験上悪いと感じたことはありません。観光客に対してはみんな笑顔で接してくれ穏やかな気質だと思えます。その島民性はバリヒンドゥー教に起因しているのかもしれない。日本語もある程度通じます。バリの通貨はルピアで空港やホテルでも両替はできますが手数料が高めです。街にある両替専門店が信頼度高めです。手数が低めでおすすです。経験談として、数人も両替をした時は大丈夫なのですが、一人で店に入り両替をするのと両替金を騙される場合があります。必ずその場で金額の確認をして下さい。物価は、物により。日本の半値以下ぐらいです。食事は日本人の口に合っていて美味しいです。バリには、ワロンと呼ばれる食堂があり、ローカル感が強く入り難い雰囲気ですが、勇気を出して入ってみて下さい。日本語メニューがある所もあります。無ければミーゴレンかナシゴレンとサテ（バリ風焼き串）とピタンビールと伝えれば間違い無いです。値段も観光客相手の店の1/3ぐらいで、お腹いっぱい食べて飲んで二人千円ぐらいです。トイレ事情は、ホテル以外にペーパーは、ほぼ無いと思っても大丈夫です。バリの慣習として、ペーパーは使わず左手と水で洗います。水溶性のペーパーは、パリスティレでも使えます。バリ島を訪れる多くの日本人がなる「バリっ腹」に備えて下さい。飲料は、必ずミネラルウォーターを飲んで下さい。生野菜やジュース等に使われている氷も要注意です。油断すると直ぐに「バリっ腹」です。お土産物店やバリ式マッサージは至る所にあり、交渉次第で安くするのでローカルとの駆け引きを楽しみながらデイスカウトしてみてもいいです。ポイントです。一度お店を出て下さい。店員が追いかけてきたら勝ちです。ここには書きませんが、バリ島には素晴らしい自然と観光地や寺院とスピリチュアルなバリタイムがあります。皆様一度神々の島を訪れてみてはいかがですか。

教宣部員 満島 宗樹

脳を鍛えるクロスワードパズル

「クロスワードパズル」のコーナーです。ちよつと一息！頭の体操してみませんか？AからGまでの七文字をならびかえて一つの言葉にしてください。正解者の中から抽選で三人の方に「全国百貨店共通商品券」千円分をプレゼントします。お申し込みは、このクロスワードが解けた方は、支那部名、コード番号、名前、機関紙に対するご意見ご要望等を記入の上、京交本部教宣部機関紙編集チームまでお送りください。締め切りは八月二十六日（金）必着です。なお当選者の発表は次号以降の機関紙「京交」で！



■AからGまでの文字をならびかえると....

- 1 (タテのカギ) ↑ ↓ ピアニッシモ
- 2 物事がよくわかること
- 3 油
- 4 タイム ↑ ↓ 買
- 5 千の十倍
- 6 トランプ
- 7 仙人掌
- 8 一年の〇〇は元旦にあり
- 9 A・B・〇〇
- 10 デスク
- 11 自尊心
- 12 自動車の荷物入れ
- 13 印刷用の色のつ
- 14 れ
- 15 小高くなった土地
- 16 しゃげの卵をほぐして食塩水に漬けた食品
- 17 非常によく似通っていること
- 18 日本の通貨単位
- 19 日かげで干すこと
- 20 正または負の電気を持つ原子
- 21 競技の決勝点に張るもの
- 22 二つそろって一組になつてゐるもの
- 23 ↑ ↓ 往
- 24 銀
- 25 線
- 26 移りうごくこと
- 27 健康や生命を害するもの
- 7 1 (ヨコのカギ) のみの市
- ↑ ↓ 暖